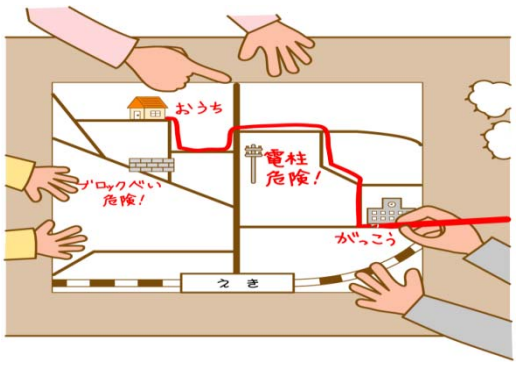
鹿児島医療技術専門学校

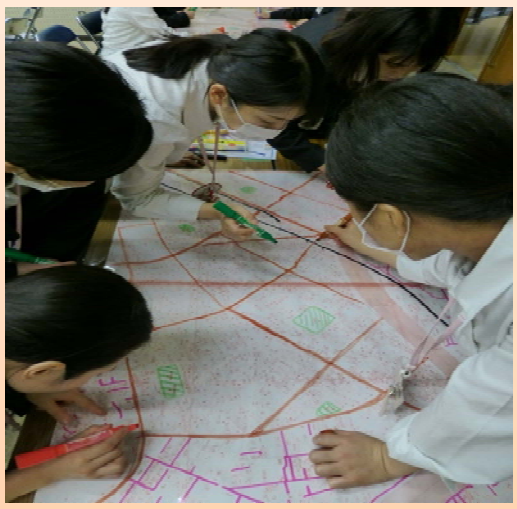
H26.11.11.（火）

図上訓練(ＤＩＧ)研修会

『DIG』って何??

『DIG』とは、大きな地図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のことで、Disaster Imagination Game の頭文字をとって『DIG（ディグ）』と名付けられました。
英語の動詞 dig には「掘り起こす、探求する、理解する」といった意味があります。『DIG』という名称には「防災意識を掘り起こそう」「地域を探求しよう」「災害を理解しよう」といった、この訓練のねらいが込められています。





体験後の感想

★今まで、毎日何気なく生活していたが、もしもの時をしっかりと考えて行動する必要があると思いました。そのため、しっかり自分のまちで逃げる場所なども考えていきたい。
★研修会では、わかりやすく楽しみながら学ぶことができとてもよかったです。鹿児島における災害の実状において、初めて知ることがあったので、知らない人にも教えていきたいと思います。
★DIG を自分たちの学校がある地域で行えたことによって、避難場所の把握ができた。また避難所や必要な物が分かったので、余裕を持って行けると感じた。
★DIG を体験したことで、安全と思っていたところが実は危険だったり避難所にならない可能性があるということがわかりました。自分達の地域の特性を知り防災に向けた良い機会となりました。
★自分の住む地域の防災について考えることができて良かった。家族や祖父母にも災害時どのような行動をとれば良いか話をしようと思った